

会社概要 CORPORATE PROFILE



社名 神戸日野自動車株式会社
 英語表記 Kobe Hino Motors, Ltd.
 本社所在地 〒658-0033 兵庫県神戸市東灘区向洋町西5丁目11番
 創業 1950年(昭和25年)2月
 資本金 10,000万円
 代表者 山之内 健二
 事業内容 日野自動車株式会社製造のトラック・バスの販売
 修理及び部品の販売、損害保険取扱
 取扱商品 トラック、バス、建設用ほか各種大型特殊車両、
 産業用ディーゼルエンジン、中古車販売、各種保険業務など
 年間売上高 約229億円(2026年3月期)
 従業員数 332人(2026年4月時点)

支店・営業所 BRANCH / OFFICE

※但馬営業所は希望者および
 地元出身者積極採用エリアです

TAJIMA
 但馬営業所
 〒667-0131
 兵庫県養父市上野1147-1
 TEL 079-664-1613
 FAX 079-664-1614

HIMEJI
 姫路支店・工場
 〒672-8079
 兵庫県姫路市飾磨区
 細江字東宮前950-1
 TEL 079-234-1441
 FAX 079-235-7050

ONO
 小野支店・工場
 〒675-1322
 兵庫県小野市匠台60
 TEL 0794-62-0071
 FAX 0794-62-0074

AKASHI
 明石支店・工場
 〒651-2411
 兵庫県神戸市西区
 上新地3-2-10
 TEL 078-967-1661
 FAX 078-967-2900

兵庫県
 HYOGO Pref.

HEAD OFFICE
 本社
 〒658-0033
 兵庫県神戸市東灘区向洋町西5-11
 TEL 078-857-7111
 FAX 078-857-7117

KOBE
 神戸支店・工場
 ※本社と同一敷地内にあります
 TEL 078-857-1000
 FAX 078-857-7116

AMAGASAKI
 尼崎支店・工場
 〒660-0086
 兵庫県尼崎市丸島町11
 TEL 06-6419-1141
 FAX 06-6419-1166

PORT ISLAND
 ポートアイランド新車センター
 〒650-0045
 兵庫県神戸市中央区港島8-12
 日野自動車株式会社 神戸研修センター内
 TEL 078-302-7704
 FAX 078-302-7714

AWAJI
 淡路営業所
 〒656-0014
 兵庫県洲本市桑岡528-1
 TEL 0799-22-7960
 FAX 0799-24-0907

※淡路営業所は希望者および
 地元出身者積極採用エリアです

お客様から信頼され選ばれ続ける会社



KOBE HINO MOTORS RECRUIT GUIDE

従業員が笑顔で生き活きと働ける会社



お客様と地域社会に貢献し続ける会社

あなたの周りの「はたらくクルマ」を販売・整備している会社



神戸日野自動車株式会社

〒658-0033 兵庫県神戸市東灘区向洋町西5丁目11番
 TEL 078-857-7111 【採用担当宛にお電話ください】
 ※当社敷地内で安全を確認した上で撮影をおこなっています。
 E-mail: saiyo@kobe-hino.co.jp

企業サイトはこちら！
<https://www.kobe-hino.co.jp>



採用サイトはこちら！
<https://recruit.kobe-hino.co.jp/>



神戸日野自動車株式会社



Road to Next Stage.

「はたらくクルマ」は私たちの社会のため、そして未来のために今日も走り続ける！

モノを運ぶ。【私たちが毎日使っているもの】

家で使う家電、コンビニに並ぶおにぎりやお菓子、学校の教材。それらのほとんどは、トラックで運ばれてきています。

ヒトを運ぶ。【私たちが目的地まで運んでくれる】

バスは通勤通学などの日常を支えるために今日も走り、人々の生活支えるために時間通りに運んでくれます。

私たちが当たり前で過ごしている毎日は、トラックやバスを運転するドライバーの皆さんやそれらを支えているたくさんの人たちの努力で成り立っています。

神戸日野自動車の仕事は、トラックやバスを販売したり、必要な部品を届けたり、再び走れる状態に修理や車検をおこなったり「はたらくクルマ」がいつでも安全に走れる状態にしておくことです。それはつまり、社会の動きを支えているということ。

「人、そして物の移動を支え、豊かで住みよい世界と未来に貢献する」

その想いを胸に、私たちは毎日働いています。

「はたらくクルマ」を支える仕事は、目立つことでは無いかもしれない。でも、誰かが実践しなければならない、大切な仕事です。

今日も整備された「はたらくクルマ」を送り出す。勇気と希望を持って、次のステージへ走り出そう！



TOP Message

私たち神戸日野自動車は、兵庫県全域をテリトリーとして、トラック・バスの販売とアフターサービスを通じ、お客様の事業活動と地域社会を支える重要な役割を担っています。物流や人の移動は社会を支えるインフラであり、その安定した運営を支えることが私たちの使命です。日野グループの基本理念である「人、そして物の移動を支え、豊かで住みよい世界と未来に貢献する」のもと、地域に根差した企業としてお客様と社会に貢献してまいります。

当社の経営方針は、次の3つを柱としています。

1. お客様第一主義の徹底

お客様の事業を止めないことを最優先に考え、高品質な商品と迅速かつ確実なサービスを提供します。お客様の課題に真摯に向き合い、最適な提案を行うことで、長期的な信頼関係を築いてまいります。

2. 人材の成長と働きがいのある職場づくり

企業の成長は従業員一人ひとりの成長によって支えられています。安全で健康的な職場環境の整備、人材育成への投資、風通しの良い組織づくりを推進し、従業員が誇りとやりがいを持って働ける会社を目指します。

3. 地域社会への貢献と持続可能な成長

環境への配慮や地域活動への参加を通じて、地域社会との共生を図ります。社会から信頼される企業として、持続可能な成長を実現し、次世代へ価値をつなげてまいります。

変化の激しい時代だからこそ、私たちは現状に満足することなく挑戦を続けます。そして、お客様から「神戸日野に任せてよかった」と言ってもらえる企業であり続けるため、全従業員が一丸となって取り組んでまいります。

今後とも変わらぬご支援、ご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

神戸日野自動車株式会社
代表取締役社長

山之内 健二

神戸日野自動車では、従業員とその家族全員に「しあわせ」を感じてもらえる職場づくりを目指し、様々な取り組みをおこなっています。



6

HEALTH MANAGEMENT 神戸日野自動車は健康経営に取り組んでいます

【健康経営】大規模健康優良法人に8年連続で認定されました！

2017年に健康宣言をおこない、生涯現役で心身共に健康に働けることができるように健康経営を推進しております。



各省庁や団体が運営している健康に関する制度に毎年申請をおこなっており、健康施策を実施するだけでなく従業員の意識付けを第一に考えた施策に会社を挙げて取り組んでおり、2026年度の健康優良法人（大規模法人部門）に認定されました。（8年連続8回目）

日々のラジオ体操実施のほか、拠点対抗で行っているウォーキングキャンペーンを行うなど、従業員の運動機会を増やすことによって生活習慣病を未然に防ぐ活動を実施しています。加えて、2023年度からは健康経営の一環としてGLTD制度を開始するなど各種制度の導入にも力を入れています。



【各省庁、団体からの認定証】



【GLTD制度（団体長期障害所得保証制度）導入】



【ウォーキングキャンペーン拠点表彰】

7

【褒賞/表彰制度・資格取得制度】従業員の向上心を応援！資格取得費用などをサポート。

業務で必須となる資格はもちろん、必要なスキル向上のための資格取得を支援しています。資金面の援助の他、従業員の活躍の場を拡げる促しをおこなっています。

会社全体で優秀な成績を収めた場合、半期に一度、部門表彰を実施しており、優秀な成績を収めた従業員や部署には褒賞などが贈られます。



優秀営業スタッフ表彰 ⇒⇒⇒⇒ 優秀営業スタッフには社長から褒賞が贈られます



各支店の褒賞は、代表して【日野検定1級取得表彰】支店長が全員分を受取ります

8

【浴場を設置】仕事の汗を流してから帰路へ。



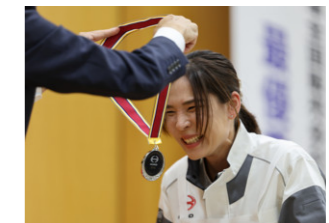
各支店には浴場が設置されており、1日の汗を流してから帰ることが可能です。

9

【技能コンクール】サービススタッフ同士が技術力を競う年に一度の技能コンクール。

日本全国の日野グループ各販売会社の代表として選出された整備士、部品士、そしてフロントスタッフが知識と技術力を競う、年に一度の技能コンクールとして開催されています。今年度からは「サービスの底上げ」のために若手選手枠と技能実習生枠が設けられるなど、規模を拡大して実施されました。

当社も各部門に代表選手を送り込み、上位入賞を果たすなど、技能コンクールはサービススタッフの技術と意識の向上を掲げた日野販売会社グループの一大イベントとして定着しています。



【全国2位の表彰を受けました】 【毎年一度開催されています】



【全国の販売会社から代表選手が集い、各部門でサービス力を競いました】



EVENT & SUPPORT

TRUCK SERIES BUS SERIES
 神戸日野自動車が販売・整備している、あなたの周りの「はたらくクルマ」の一部をご紹介します

1 【地域清掃活動】

地域共生を掲げ、清掃活動を実施しています。



地域で活動する一員として「健全で清潔なまちづくり」のため、不定期に実施される地域清掃活動に各拠点で参加しており、各拠点の行事として定着してきました。清掃活動はSDGsのほかにコミュニケーションや運動奨励にも繋がる活動として認知されています。



全拠点から参加希望者を募ってゴルフコンペを実施しています。自然の中で拠点や職種を超えた従業員同士のつながりが生まれたり、普段は話すことのない他の職種や他拠点の仲間と会話が弾む「楽しいひと時」になっています。



【豪華景品やショータイムなど盛りだくさん】
 社友会（従業員組織）が中心となり、従業員アンケートの結果を元に企画されます。直近では2025年に75周年記念式典として「感謝の集い」を開催しました。

2 【社員旅行】

業務を忘れてバカンスへ。人気行事の「社員旅行」



数年に一度、従業員向けのアンケートによって目的地を決めて「社員旅行」を実施しています。新型コロナウイルスの期間は実施できませんでしたが、自粛期間が明けた2023年に5年振りに北海道と南九州（鹿児島・熊本）に分かれて社員旅行に行きました。2026年も国内旅行（北海道・東北・沖縄）を企画中！社員旅行は部署や業務の枠を超えて従業員同士が親交を深めるきっかけになっています。

4 【新車展示会・地域フェア参加】

日野車両の魅力を伝えるために実施しています。



トラックのモデルチェンジがおこなわれる際には、実際の車両に触れて理解するための展示会が開催されます。従業員にとっての学びの場となるだけでなく、実際にお客様の反応などを間近で見て、コミュニケーションを図る絶好のチャンスです。

各社車両が集まるフェスティバルなどにも車両を持ち込み、来場者の皆様に日野車両の魅力や性能などを伝えています。



神戸日野自動車は兵庫県内を走るトラック、バスを販売・整備している大型車ディーラーです。
 ※2026年3月期
 私達は日野自動車製の「はたらくクルマ」を年間1,049台販売しており、兵庫県内の物流と人流を支えています。



近年はEV（電気自動車）タイプのトラック・バスをはじめ、カーボンニュートラルと水素社会の実現に貢献すべく、環境性能と実用性を両立した国内初の燃料電池を搭載している大型トラックの量産モデル「日野プロフィア Z FCV」の発売を開始するなど、お客様をはじめ社会の課題を解決し、持続可能な社会の実現を目指してまいります。



ちょっとMEMO

乗用車と大型車（商用車）の比較

～ 大きさだけでなく、走行距離が多く、実はとっても高価な車～
 ※数字は目安

乗用車	約200万円 エンジン：約1,500cc 走行距離：年間約1万キロ	
大型車	約2,000万円 エンジン：約13,000cc 走行距離：年間約10万キロ	
	約5,000万円 エンジン：約13,000cc 走行距離：年間約10万キロ	
	※地球1周は約40,000キロ	

Sales

営業

お客様想いな営業職として、
これからも日野のトラックの魅力伝えていきたい!



久しぶりに商談するお客様の情報をパソコンで確認。



社内での情報交換は重要で積極的に会話をしています。

大学卒業後、営業部で活躍中。2015年入社

私の仕事は既存のお客様を訪問してトラックの使い心地やお悩みを伺ったり、新車導入時のご提案、車検のご案内などが営業の主な仕事内容です。私が扱う車両は大型トレーラーもあれば、工事現場で活躍するダンプカーもありますし、ネットショッピングで購入した商品を全国に運ぶ大型トラックまで多種多様な「はたらくクルマ」を扱っています。トラックは100万キロ（地球を約25周）以上走る車両もありますので、お客様の使用状況を見て車検や新車トラックのご提案まで、お客様に寄り添うことで円滑に仕事が回るように努めています。「はたらくクルマ」の営業は、1台1台特徴や役割が違うため、様々な業種・業界の方と商談ができるので知識が豊富になりますので、日々成長していると実感することが多い部分も「はたらくクルマ」を扱う営業職の「魅力」だと思っています。

message

営業に必要なことは、社内外問わずコミュニケーションを大切にすること。そして「成長したい」という気持ちを持ち続けることが大切だと思います。



CLOSE UP いつも笑顔で挨拶することを心掛けています。

とある日の【ONE DAY SCHEDULE】

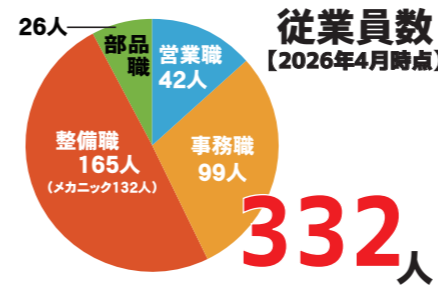
9:00	9:30	13:00	14:00	16:00	17:00	18:30
出社	お客様まわり	ランチ	お客様まわり	帰社	見積り作成	退社
出社後すぐに、メールや見積りの返答チェック。	スケジュールを立ててお客様の元へ訪問。		午後からも引き続きお客様への積極的な新規顧客の開拓もおこなっています。	1日の訪問数は多い時で10件ほど。夕方には帰社します。	メールや営業先で依頼を受けた見積りを作成。	資料が仕上がれば退社。急ぎの案件を抱えた際は残業をします。

営業職の主な仕事

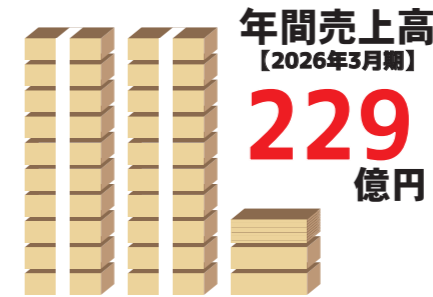
お客様の声をよく聞き、要望に応えるトラックを提供。営業は、その仕様を提案するコーディネーター。

神戸日野自動車の扱うトラック・バスは、1台1台使われるお客様ごとに仕様が全く異なるので、お客様に届けるものはトラック・バスだけではなく、柔軟な対応力と提案力も「営業の腕の見せ所」となります。営業職は、お客様の要件や要望を伺いながらトラック・バスのオプションを提案し、「最適な1台」をお勧めしていきます。トラック・バスなどの「はたらくクルマ」は年に1度車検が義務付けられているため、お客様に対してのフォローを欠かさずおこなっていく必要があり、信頼関係の構築とアフターフォロー体制を整えての提案型営業が望まれています。

- お客様へのお役立ち活動
- 荷台メーカーとの折衝
- 新車の商談
- 車両の登録・納車
- 車検の勧誘
- 保険やリースの勧誘



最も多く在籍しているのは、整備士を中心としたサービス部門のスタッフです。その他にも、社内業務を円滑に進める事務職や、お客様との関係づくりや新規開拓を担当する営業職、部品に特化したスタッフなどがいます。各々が自分のスキルやこれまでの経験を活かしながら専門性を持って業務に取り組んでいます。



当社は着実に整備実績を積み上げてきました。時には販売台数が減ったことにより売上高が減少してしまうこともありますが、販売・整備双方で心掛けている「安全と安心」を掲げてお客様に先行提案することにより、これまで以上に真心込めたサービスを提供することを全従業員で取り組んでまいります。

有給休暇消化日数【2025年度集計】



育児休業取得について

育児休業の取得希望者 **取得率100%**



昇給率: **5.0%** 賞与(年2回合計): **5.3ヶ月分** 【2025年度 全従業員の平均】

数字で見る神戸日野自動車

DATA OF KOBE-HINO

内容は会社説明会で詳しく説明します!

正社員の平均年齢 **40.2歳**



家族手当を「配偶者手当」に改め、更に「こども手当」を新設!

神戸日野自動車では、従業員の生活支援の拡充を図るために従来の制度を見直し、新たに当制度を設けました。働きやすさの改善については、職場環境以外にも拡げていくことで、安心して働くことができる「ゆとり」について今後も検討してまいります。

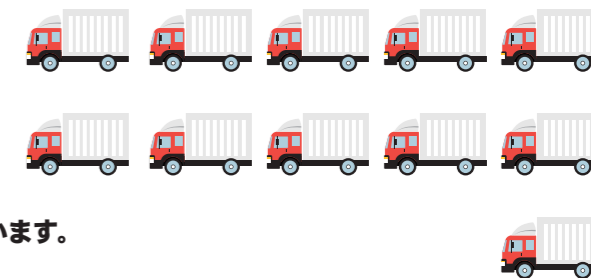
福利厚生を改善!



年間販売台数 **1,049台**

【2026年3月期】

1年間の販売台数は1,000台を超えており、兵庫県下を走っている日野自動車製のトラックやバスは、毎年増えています。「はたらくクルマ」は、人を運び、商品を運ぶために今日も走っています。皆さんも街中でトラック・バスに注目してください!

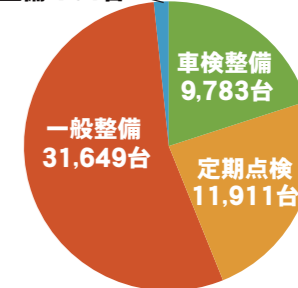


年間整備台数 **54,044台**

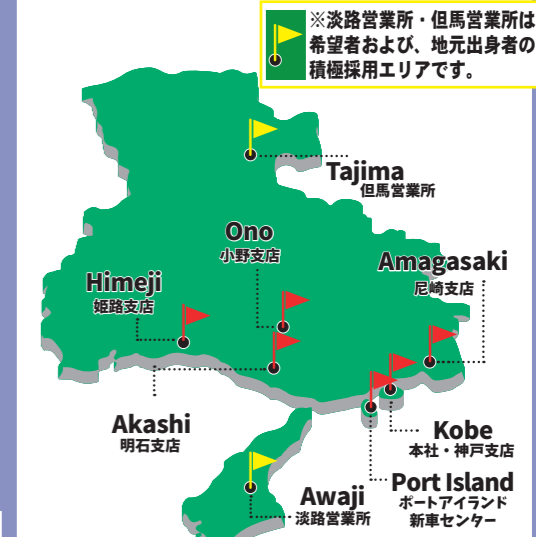
【2026年3月期】

長距離を走るトラックやバスを10年程度使い続けるには、定期的な点検や整備がとても大切です。神戸日野自動車が整備するトラックは、ドライバーの安全だけでなく、運んでいる荷物の安心も支えています。

事故整備 701台



就業場所は兵庫県内のみの地域密着型企業です。



支店・営業所 **8** 拠点

※本社と神戸支店は同一敷地のため1カウント。

淡路島を含む兵庫県の各地域に支店、営業所を置いています。営業面、整備をはじめ、部品の在庫を管理することで、お客様に安心して使っていただけるサービスネットワークを作っています。詳しくは当パンフレットの裏表紙をご覧ください。

2026年からは

116日+5日以上
年間休日 計画有給休暇

当社は日曜+祝日+第2土曜は休みです。会社休日カレンダーはQRコードからご覧ください

会社カレンダー



会社で起こる出来事に対して
正確かつ柔軟に対応できるようになりたい。

事務



中古車が再び活躍できるように皆さんと協力していきます。 **CLOSE UP** ミスをミスで終わらさないように心掛けています。

2人は2023年の同期入社。
商業高校を卒業後、本社機能の事務部門で活躍中。

大型車ディーラー（販売会社）の事務職と聞くとイメージが沸かないかも知れませんが、皆さんも遊びに行ったり、ネットショッピングで買い物したり、コンビニエンスストアでお弁当を買ったりすると思います。そのほとんどを運んでいる「はたらくクルマ」を販売・整備している会社と伝えたらイメージしやすいと思います。家の外に出るとトラックやバスは必ず目にすると思います。私たち事務職は社会で活躍している「はたらくクルマ」が安全安心に走ることができるよう日々サポートしています。



わからないことがあれば教え合う事で理解を深めています。

とある日の【ONE DAY SCHEDULE】

9:00	10:00	12:00	13:30	15:00	15:30	17:15
出社	各種更新	ランチ	接客・電話対応	休憩	報告資料の作成	退社
今日は当番の日。各部門からの未提出物が無いか事前に確認します。	部署内の予定を更新することで、本日の段取りに不備が無いか確認します。		立て続けに来客があり、丁寧に対応します。昼からは各支店からの問い合わせも多くなります。	ちょっと一息します。	月末が近づくと各部署から伝票やデータが集まってくるので管理しておきます。	今日は偶然一緒に掃除当番。身の回りの整理整頓が終わると退社。



事務職の主な仕事

各部署と連携して「会社の数字」を導き出すため、的確な判断と正確さが求められる重要なポジション。

- 当社の事務部門は大きく「本社機能と支店機能」に分かれます。「本社機能」は
- ・社内の課題解決や人事データ、給料データをはじめ、設備関係や採用活動まで幅広く担当する「総務課」
 - ・帳簿や資産の管理、各種支払いをはじめとする会社の数字をとりまとめる「経理課」
 - ・車両の発注や登録業務をはじめ各種保険の取り扱いなどをおこなう「業務部」
 - ・中古車を仕入れて自社でメンテナンスをおこない、販売に繋げていく「中古車部」

などがあります。「支店機能」の事務職は各支店や営業所のアシスタント業務のほか、整備工場の売上げデータを集計して経理課につなぐ重要な役割を担っています。当社の事務職は本社・支店を問わず専門部署を置いており、いずれも会社全体のバランスを取る重要な役割を担っています。



営業職は、お客様の要望によって多種多様な「はたらくクルマ」を創り出す重要な役割を担っています。

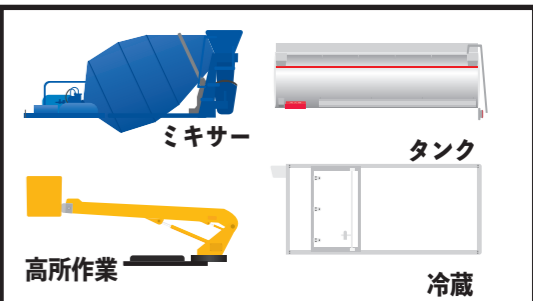
お客様に合った車両ができるまで

ちょっとMEMO

私達が販売しているのはこの部分

トラックの場合、運転席の部分が「キャブ」、荷台を載せる部分が「シャシー」と言います。

用途に合わせたカスタムオーダーとなるため、お客様と打合せをおこない仕様を決めていきます。



タイヤの数（軸）は用途に合わせて設計

用途に合わせた架装（ボデー）が架装メーカーで制作されます

はたらくクルマの完成です！



営業マンの仕事をご紹介します

各支店に営業部があり、営業マンが活躍しています。月に1度は保険業務やリースをはじめとした、研修会を開催するなど、他の支店で活躍する営業マンとの交流もあり、「ダンプカーなら私に任せて」「消防車なら私に任せて」など、各分野で成功を収めている先輩が入社後はサポートします。



見積り作成も営業の大切な仕事



納車前は洗車をすることもあります



月に一度開催している営業職研修会の様子



営業担当には社用車を貸与



実車を前に先輩と仕様などを確認中



ちょっとMEMO

営業職の大型運転免許所持についてですが、専門のドライバーが居ますので、車両登録や納車時に営業担当者が自らトラック・バスを運転するケースは基本ありませんので、普通自動車免許（AT限定可）があれば大丈夫です。

会社見学時には先輩従業員に話を聞くことが可能です！

mechanic

整備を通じて自分の成長を感じることができる。
自分の選んだこの仕事が誇りです。

整備



車輛の状況を先に確認してから整備をおこないます。

若手からの質問には丁寧に答えるようにしています。



自動車整備専門学校卒業後、整備課で活躍中。2010年入社

大型トラックを整備する際は、数人のチームを組んでおこなうため、チームワークと手順を守り、安全かつ正確に作業をおこなうことが大切です。大型車整備の知識は入社時の新人基礎研修で習得することが可能ですし働きながら資格を取って整備士を目指したいと考えている方にはお助めの仕事です。「大型車を扱ったことが無いので不安」という方もいると思いますが、有資格者からディーゼルの知識を学ぶことができますので安心して下さい。日野自動車の車両は年々進化を続けており、当社でも最新技術を学ぶための研修制度やサポート体制がありますので、常に正しい整備手法を学ぶことが可能で、現場で活かすことができます。私自身も今後さらに技術を磨き、挑戦し続ける姿勢を大切にしながら、技術向上を目指して努力を重ねていきたいと考えています。

message

街中を走っているトラックやバスを見て下さい。社会で重要な役割を果たしている、私たちが心を込めて整備しています。当社では仕事をしながら資格を取ることが可能で、少しずつ自分の成長を感じることができる仕事です。



整備に必要な整備服をはじめ、軍手やヘルメットなどの安全保護具の他、夏場は熱中症対策飲料を支給しますので、安心して働いていただけます。



サービスフロント
車検・整備の受付



サービスフロント
整備結果の説明



サービススタッフ
車検・整備の実施



サービススタッフ
故障のチェック

CLOSE UP 作業内容をチームで共有し、安全作業を心掛けています。

とある日の【ONE DAY SCHEDULE】

9:00	9:30	12:00	13:00	18:30
出社 出社後すぐに今日担当する整備台数を確認します。	トラック整備 朝礼を経てミーティング後に整備開始。今日は休み明けなので台数が多いです。	ランチ	バス整備 引き続き整備の仕事。トラックの他にバスが入庫している状態。安全確認と作業手順の確認をおこなって整備を進めます。	退社 今日は整備目標を達成したので退社。繁忙期は残業することもあります。

整備士の主な仕事

トラックやバスの活躍の裏に、整備士の努力あり。高い技術でメンテナンスをおこなうメカニック。

兵庫県内はもとより、日本全国を駆け巡り活躍する日野自動車製のトラック・バス。その中でも西日本の各都市に向かう「はたらくクルマ」は陸路では必ず兵庫県を通過することを忘れてはいけません。時に10年もの間使い続けられるトラックが安全に運行していくために、そして兵庫県を通過する車両に故障があった時など、応急処置をして走れる状態に戻すために活躍するのが、神戸日野自動車の整備士（メカニック）の任務でもあります。当社が整備をおこなう台数は大小合わせて年間54,044台。整備士たちは日々の業務や社内で認定された整備士の資格取得などを通して腕を磨き、安全・安心そでの確かな整備をおこなうために努力を重ねています。

CROSSTALK 若手社員 Q&A

神戸日野自動車はどんな会社なのか？
仕事内容は？
皆さんが持つ疑問に現在活躍している若手従業員が答えてくれました。



Q1 入社した理由、決め手はなんですか？

もともと「ものづくり」が好きだったのと、神戸日野自動車はダカールラリーに参加しているのでもっと憧れました。

Q2 仕事内容を教えてください。

トラックの車検整備を担当しています。大型車車検の場合、チームを組んで整備をおこなうのですが、大きい拠点なら1日に合計で10台程度車検をすることもあります。

Q3 会社の雰囲気は？

仕事は厳しく、プライベートでは優しく。プロ意識を感じる先輩方が多いです。自分も早く追いつきたいと思います。

Q4 入社前に持っていた印象と違ったところはどこですか？

入社時には知識や技術をほとんど身に付けていなかったのですが、不安はありましたが、印象や想像と違った部分ははありません。

Q5 会社に求められているのはどんな人だと思いますか？

技術などは仕事を通して身に付けられますので、日々勉強しながら成長していける人が必要とされる人材だと思います。

Q1 入社した理由、決め手はなんですか？

大学では野球部に所属しており、仕事と野球の両立ができるということ、そしてトラックやバスなどの「はたらくクルマ」をお客様と一緒に作っていくということを会社説明会で聞いて、興味を持ったことが入社決め手でした。

Q2 仕事内容を教えてください。

先輩に同行して商談に参加し「はたらくクルマ」の受注から納車までのノウハウを勉強中です。ご注文いただいた車両の詳細をメーカーである日野自動車に発注する書類作成などを手掛けています。

Q3 会社の雰囲気は？

支店内には様々な部署があり、活発な意見交換が行われていて、わからないことは担当部署にすぐに確認できるので仕事が進めやすいです。

Q4 入社前に持っていた印象と違ったところはどこですか？

車に関する知識がなかったので不安でしたが、研修期間で色々なことを教えていただいたことでいつの間にか不安感がなくなっていました。

Q5 会社に求められているのはどんな人だと思いますか？

自分から積極的に行動できる人だと思います。人任せにせず、自分で考えたり行動に移すことで多くの知識と経験を得ていきたいと考えています。

Q1 入社した理由、決め手はなんですか？

「トントントントンヒノニトン」のCMを見たことがきっかけです。高校で求人広告を見かけた時にCMのフレーズが思わず浮かびました。

Q2 仕事内容を教えてください。

社内の部品の在庫を管理したり、故障や交換などトラック・バスをお使いのお客様から寄せられる要望に応じて部品を提供しています。

Q3 会社の雰囲気は？

営業・整備・部品・事務など全従業員が分野の垣根を越えて協力し合えることが魅力です。明るくて絆の深い会社です。

Q4 入社前に持っていた印象と違ったところはどこですか？

整備現場の皆さんは怖い印象でしたが、話をしていると実際はとてもフレンドリーでホッとしたことを覚えています。

Q5 会社に求められているのはどんな人だと思いますか？

お客様はもちろん従業員同士でコミュニケーションが取れる人、そして明るく元気な人であればすぐに活躍できると思います。

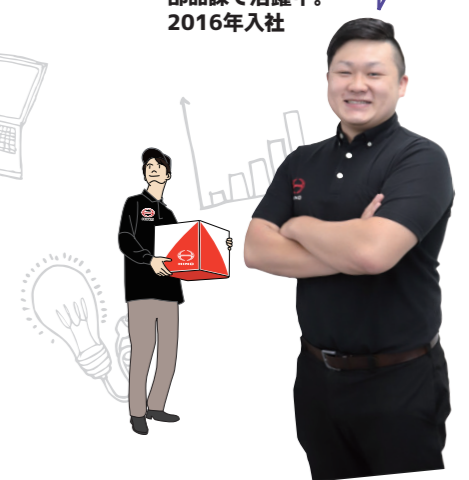
工業高校を卒業後、整備課で活躍中。2018年入社



大学を卒業後、営業部で活躍中。2023年入社



商業高校を卒業後、部品課で活躍中。2016年入社



Parts

部品

必要な部品の品揃えが大切なので、
「先を読むチカラ」を養っていきたい。



倉庫内はいつも整理整頓を心掛けています。



朝の入庫が終わると午後からの打合せをおこないます。



高校（普通）卒業後、部品課で活躍中。2024年入社
母が自動車部品を扱う仕事をしていたこともあり、身近に感じていた車に関する仕事を探していた高校3年生の時に求人票を見て興味を持ったことがきっかけでした。入社当初は数千点ある部品の種類の多さに圧倒されましたが、先輩方が使う「受注台帳」を活用していく中で、よく使われる部品や業務の流れを少しずつ理解できるようになり、自信を持って仕事に取り組めるようになりました。当たり前ですが自動車は部品が揃わなければ整備が進みません。朝に届いた部品の入庫をはじめ、品薄になってきた部品発注や在庫確認ではダブルチェックを徹底し、ミスや重複などが無いように心掛けています。最近では母や同じ部署の先輩、部品を扱う整備士の方々からアドバイスをいただく機会も増え、多くの支えを受けながら仕事に取り組むことができています。お客様からの要望や在庫管理、支店間の連携を大切に、整備現場を止めることなく必要な部品を少しでも早くお届けできるように努めていきたいです。

message

一人で抱えずに周りに相談することで理解の幅が広がります。緊急を要する場合の応用力をはじめ、社内外問わず助け合う気持ちを持って相手に接することができる人にオススメの仕事です。



CLOSE UP 愛車を購入した頃から知識の幅が広がりました。

とある日の【ONE DAY SCHEDULE】

9:00	10:00	13:30	12:00	13:30	17:30
出社・仕分け 出社後すぐに届いた部品の仕分けをおこないます。	入庫 届いた部品を入庫。急ぎの部品は整備現場に持参することもあります。	部品庫で作業 翌日以降に必要な部品の品出しなどをおこないます。	ランチ	電話対応など 午後は社内外からの問合せが多くなります。	退社 納品書や請求書のチェックが終われば今日の仕事は終了。

部品課の主な仕事

トラックやバスに使われる数千もの部品に精通。
社内外問わず交渉をおこなうことで、業務の円滑化を図る部品のエキスパート。

トラックやバスには、大きささまざまな部品が数え切れないほど使用されています。部品課は、それらの部品を整備工場や商社へ販売するだけでなく、自社整備に必要な部品の手配や在庫管理などを担う重要な部署です。業務内容は幅広く、部品の受発注や入庫管理、全拠点の在庫状況の共有・管理など、多岐にわたります。また、日野自動車が認定する「部品士」資格の取得を目指すことができ、専門知識を身につけながらステップアップできる環境が整っています。部品に関する知識はもちろん、パソコンを使った事務処理や社内外との交渉など、スキルを磨くことができます。部品課は、整備現場を支える「緑の下の力持ち」として、お客様の車両稼働と物流・交通インフラを支える重要な仕事です。多くの人の暮らしを支えるやりがいを感じながら、専門性を高めて成長できる職場です。



部品・消耗品の仕入れ



部品・消耗品の販売



部品・消耗品の在庫管理

整備工場を紹介します

仕事効率を上げるために職場環境の改善をおこなっています

乗用車に比べ数倍の大きさの大型車を扱うため整備工場内の敷地は広く、そして高さのある開放的な空間で整備が可能です。老朽化した支店・営業所や工場をリフレッシュするなど、従業員が気持ちよく安全に働ける環境づくりにも取り組んでいます！



【長さ15m級の車両が往来するため、整備工場はとても広いです】

ステップアップ研修の様子

技術テーマが毎回設定されていて日野検定の内容に沿った形で整備士としてのスキルアップを目指して定期的に受講します。



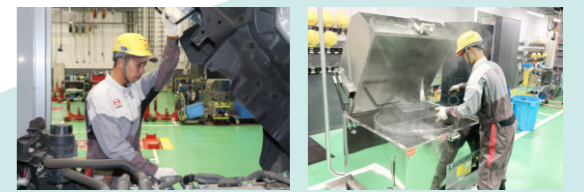
オーバーホール作業中



【トラックの整備はキャブ（運転席）を前に倒して実施】



【姫路支店は西棟と東棟をアーチで繋ぐワーキングドームを設置しています】



【定期的に大規模修繕を実施】

[本社]	事務所改装（2017年）、レイアウト変更（2021年）
[神戸支店]	全面改装（2015年）、整備用リフト入替（2017年）、駐車場増設・整備レーン増設（2018～2019年）
[尼崎支店]	事務所・工場建替（2015～2017年）
[明石支店]	全面改装・整備用リフト入替（2014～2015年）
[小野支店]	改装・整備レーン増設（2014年）、整備用リフト入替（2018年）
[姫路支店]	事務所・工場建替（2022年）
[但馬営業所]	事務所建替（2018年）



【リフトアップしての作業（写真は2柱リフト）】



【車両下部の整備はフロアリフトを使ってをおこないます】

〔新人研修について（整備職）〕

～ 焦らず基本を身につけよう ～

当社でおこなっている新入社員研修は専門部署である安全教育課が主導で実施しており、日野自動車（株）で安全に関する教育課程を修了した専任者（講師）を置いています。まずは、新入社員全員で入社式から1週間はビジネスマナー研修を受講。以降約1か月半はメカニック（整備士）に対象を絞って技術研修・安全教育等の研修期間を設けています。当研修では技術レベルと理解力を上げていくことをはじめ、配属後に現場でできることが少なく戸惑わないように講師からタイヤ交換、ブレーキメンテナンスを学び、5月下旬の正式配属に備えます。



研修の様子はホームページに掲載しています

新人メカニックは専門の講師が開講する工具の使い方や車両整備の基礎研修を受講します



新人教育では、大型車におけるタイヤ交換（ハブ交換・メンテナンス）まで指導しています



安全面の指導をはじめ、お互いの作業を確認して修正していくチームビルディングを実施



高校・専門学校・大学が工業系の学科でなかった方にも新人研修でイチから指導をおこないます。入社後に資格や技術を習得し、当社の仕事を通じてステップアップを図ることが可能です。

〔外国籍従業員の活躍〕

勤勉さと明るい笑顔が魅力のNICE-GUY！

フィリピンからの技能実習生および特定技能実習生は当社に限らず日本国内の製造業を中心に自動車整備等の現場でその能力を存分に発揮しており、当社においても2018年以降、在籍して活躍しています。日本語の会話も流暢で、持ち前の勤勉さと明るい性格で今では整備現場に欠かせない存在です。



【助け合って共に働いています】

神戸日野史上初めて、バングラデシュ出身の留学生（自動車整備専門学校卒業生）を2026年4月入社で採用し、続いて2027年4月入社でネパール出身の留学生の採用も決まりました。今後も志の高い留学生に関しては、日本人と同じ待遇で積極的に採用をおこなう予定です。彼らは自動車整備専門学校で取得した整備士資格をはじめ各種資格を有しており、整備知識に加え、日本語・英語・母国語等を話すなど優れたコミュニケーション能力を発揮してもらうことで、当社の使命である社会インフラを支える「懸け橋」としての役割を期待しています。一緒に頑張っていきましょう！



研修中の様子



【ウォーキングキャンペーンで上位入賞！】



【受け入れの際は入社式を実施しています】



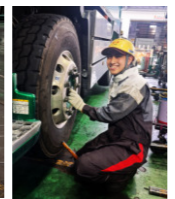
【技コンにも出場】



【大型車整備についての日本語勉強会の様子】



【安全確認を怠らず、わからないことは確認しに来てくれます】



【メカニックスーツを着て記念撮影】



【海辺のレクリエーションを実施】



【感謝の集いにも全員で参加しました】



【メカニックスーツを着て記念撮影】

“ダカールラリー”



夢の舞台に立ったメカニック。

ダカールラリーの情報はコチラ↓



自動車整備専門学校卒業後、2007年に神戸日野自動車に入社。2018年にダカールラリーに出場するなど活躍。現在は幅広い知識と確かな技術力を用いて本社技術課にて活躍中。

「ダカールラリーに出たい！」その夢のために。

私がダカールラリーを知ったのは小学校時代。ただし、日野が参加しているのを知ったのは、神戸日野自動車に入社してからです。研修中にトラックが砂漠を走っている映像を見た時に「自分も挑戦したい!」と思いました。そう感じてしまったら1日でも早くダカールラリーの整備士に選ばれたいという気持ちが強くなり、何事にも挑戦する気持ちで仕事に臨みました。最初の目標は日野の技術コンクールへの出場。入社2年目のときは全国大会に行けなかったのですが、それが悔しくて翌年も再挑戦し、全国大会で3位の成績を収めることができました。その後の目標は明確になり、日野の整備士資格の最高峰であるHS-1を取得することができ、会社の後押しもあって、ダカールラリーに応募することができ、試験を経てクルーとして選任されました。選出後は、シルクウェイラリーとラリーモンゴリアにチームの一員として出場。レース中の整備について、そしてラ

リー中に起こるであろう様々なトラブルの予測について学びました。十分に準備をしても、現実には予想以上のことが起きる。この経験は、ダカールラリー本戦でも大いに役立ちました。



過酷な経験を経ても、また戻りたくなるのがダカール。

レースは昼に行われますから、整備はその後。翌朝にはラリーが再開するので、それこそ夜通しでの整備です。この整備の肉体的な負担はもちろん、自然環境もラリーの過酷さに拍車をかけます。例えば、アンデス山脈を越えるクルーを悩ませる高山病。激しい頭痛と吐き気、それでも日々の整備は万全を期すことが求められます。こうした症状に加えレース後半には、何と私の担当する2号車のフレームが割れてしま

ました。もちろん換装できませんから、ひび割れが起こるたびに溶接し、祈る気持ちで車両を送り出しました。そして14日間にわたるラリーの結果、私の担当する2号車は総合6位入賞。この貴重な経験を通じて私が感じたもの、それは前向きに考え進むことの大切さです。困難が次々に起こる中で、次の一手をどう打つかを考え続けること、これは普通の仕事でも大切です。ラリーを終え、私にとっても新しい整備士人生が始まりました。これからは、神戸日野自動車からさらに優れた人材が輩出されるようダカールラリーの面白さを伝えていきたいですね。



ダカールラリー出場までの道のり



※日野グループ独自のサービススタッフ技術資格